

(様式第2号)

SDGsの達成に向けた重点的な取組み宣言書

作成日:	令和5年12月22日
事業者名:	明光化成工業 株式会社

三側面	SDGsの達成に向けた重点的な取組み	関連するSDGsゴール (最大3つ)	実績	指標・目標	
環境	オール小島環境保全委員会（小島プレス工業（株）グループ企業）、社内省エネ委員会を通して設備の省エネ化や運用改善を行うことで、工場から出るCO2の排出量を抑制・低減している。 緑化推進運動功労者 内閣総理大臣賞受賞後も工場緑化活動を継続することで、敷地内の緑地がCO2を吸収する環境を維持管理している。 総務を中心に業務のデジタル化を推進している	⑬気候変動に具体的な対策を、⑮森の豊かさを守ろう	2023年CO2排出目標：2,056t-CO2 実績：2,042t-CO2 (1月～12月速報値) 緑化率：44%（緑地以外の環境施設除く） 2015年 緑化推進運動功労者 内閣総理大臣賞受賞	指標	CO2の排出量削減 CO2の削減量管理 緑化率の維持
				目標	2025年までにCO2の排出量を10,000t-CO2にする。 2025年までにCO2の低減量を500t-CO2にする。 緑化率44%を維持する。
社会	若者が働きやすい職場環境の整備 障害者雇用の促進および雇用の安定に取り組む 恵那市立明智中学校の職場体験受入れの実施	⑧働きがいも経済成長も、⑩人や国の不平等をなくそう、⑪住み続けられるまちづくりを	※2022年度”ユースエール”に認定。 ・新規学卒者等の離職率 7.1% ・月平均所定外労働時間 12.9時間 ・有給休暇の年平均取得率 96.8% ・育児休業等の取得 100% ※2023年度”もにす”に認定 ・新規学卒者に、障害者就労施設の見学を実施（毎年） ・障害者就労施設に年間100万円以上の業務を発注。 ※中学校職場体験毎年実施	指標	”ユースエール”の継続認定（1年ごとの審査） ”もにす”の継続認定（1年ごとの審査） 明智中学校の職場体験を毎年開催する
				目標	”ユースエール”の継続認定 ”もにす”の継続認定 明智中学校の職場体験を毎年開催する
経済	SmartHRやSAP Concur導入等、デジタル技術を活用した業務の効率化とペーパーレスを推進する。 廃プラスチックの分別による廃棄物費用の削減を推進する。	⑧働きがいも経済成長も、⑮森の豊かさを守ろう	SmartHR導入効果 ・人事考課票のペーパーレス（A4用紙780枚の削減） ・考課者・人事考課担当者の業務改善：9時間/年の削減 SAP Concur導入効果 ・出張旅費処理清算書のペーパーレス（A5用紙80枚の削減） ・経理担当者2名の業務改善：12時間/年の削減 廃棄物処理費の低減 2023年実績：96千円/月	指標	ペーパーレス化（紙の使用量） 業務改善（削減時間） 産業廃棄物処理金額
				目標	2027年までに総務・経理での申請書の電子化80%以上を目指す。 2027年までに処理金額を50千円/月に抑える。
ガバナンス	チェック	SDGsの達成に向けた重点的な取組みが従業員に共有されており、かつ達成するための仕組みが組織内に構築されている（PDCAサイクル等）。 <具体的な内容を記載> 社員には社内イントラを活用し、月別の目標値と実績値を見える化することで社員への意識づけを行っています。			
	<input checked="" type="checkbox"/>				